

7 継続的な改善について

7.1 PDCA サイクルに基づく改善

- 那覇市バリアフリー基本構想は、PDCA サイクルにもとづくスパイラルアップの取組として、毎年開催する協議会において、策定した基本構想の進捗確認、評価、改善を進めていきます。
- なお、基本構想は概ね 5 年毎に特定事業等の実施状況の調査、分析及び評価を行い、必要に応じて変更を行うとされています。

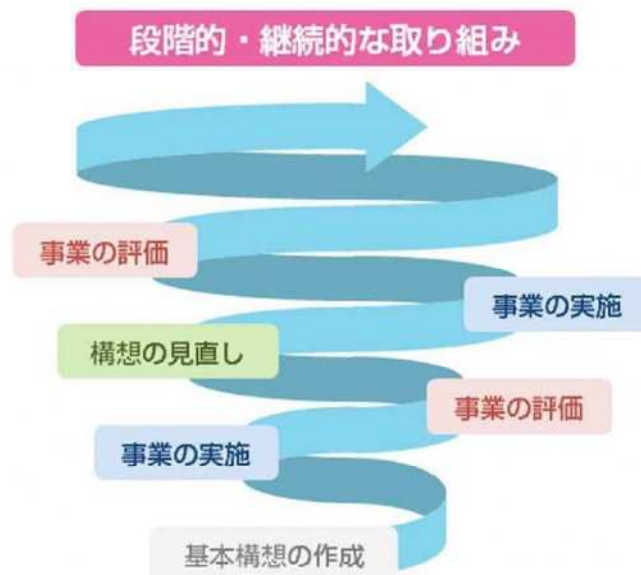


図-28.バリアフリー基本構想のスパイラルアップのイメージ

(出典:ガイドライン)

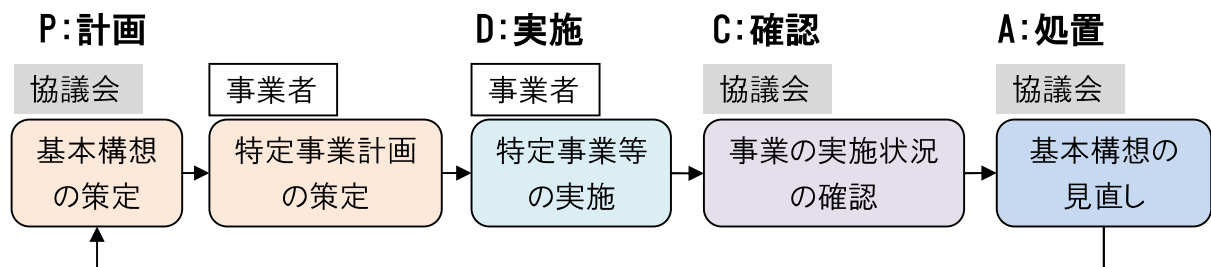


図-29.PDCA の流れ

7.2 協議会における取組に関する意見

那覇市バリアフリー推進協議会において、特定事業に関する意見があげられており、今後バリアフリー基本構想を見直す際に、下記に示す取組を特定事業等として盛り込んでいくことが考えられます。

【公共交通特定事業】

- 係員の接遇向上に向けたバリアフリー講座の実施等
- 駅・バス停から周辺施設への円滑な移動支援に向けた案内サインの充実等
- バス乗り場のわかりやすい案内に向けた案内表示、音声案内の充実等
- わかりやすいバスの行き先案内に向けた系統番号の表示の工夫等

【道路特定事業】

- 高齢者・障がい者の安全な通行空間の確保に向けた道路空間の再配分等
- 視覚障がい者、車いす利用者など様々な障がい者に配慮した歩道と車道の段差の緩和や、安全ポール等道路付帯施設の設置
- 歩道での路上駐輪、看板設置の防止呼びかけ（国際通り以外でも実施）等

【路外駐車施設特定事業】

- 車いす利用者が駐車しやすい環境作りに向けた満空情報の表示等
- 駐車場から周辺施設へのバリアフリー化に向けた車いす通路の整備、段差の解消等

【都市公園特定事業】

特になし

【建築物特定事業】

- 高齢者・障がい者の円滑な移動支援に向けた建物と道路の段差解消や、様々な障がいに対応した施設の改良等
- 高齢者・障がい者の受け入れ体制の強化に向けた大規模改修時のバリアフリー対応客室の設置等
- 特定建築物におけるバリアフリー対応状況の表示やバリアフリー対応マニュアルの設置等

【交通安全特定事業】

- 高齢者・障がい者の安全性向上に向けた音響式信号機やエスコートゾーンの設置や歩行者用信号青時間の延長
- バスの正着阻害や交通渋滞の要因である違法駐車対策についての取組等
- 歩道での路上駐輪、看板設置の防止呼びかけ等

【心のバリアフリー】

- バリアフリーに対する市民の意識向上に向けた定期的な啓発活動の実施等
- 高齢者・障がい者が日常的に利用する店舗や飲食店等のバリアフリー化に向けた商店街等と連携した取組の実施等